



7月25日、地本は首都圏本部より

「駅派出検査体制等の見直しについて」提案を受ける！

駅派出検査では、車両不具合への迅速な対応により、安全・安定輸送を支える役割を担ってきました。グループ経営ビジョン「変革 2027」の実現に向けて、引き続き社員の働き甲斐を創出し、社員とグループの持続的な成長につなげる必要があること、取り巻く環境を踏まえ、これまでの対応レベルを維持しつつ、社員の活躍のフィールド等を拡大することを目的に提案がされました。

1、実施箇所及び実施内容

東京総合車両センター品川派出所の体制を見直し

2、実施時期

2024年10月1日

3、その他

施策実施に向けた必要な準備・教育を進めていく。

4、提案箇所体制

現行体制より、一般で変形+2、交代△2の変更。

具体的な
実施内容

融合により本線対応能力が
向上することは絶対でない！

計画科と業務の融合で
幅広い社員が本線対応
業務に従事が可能

計画業務を
取り入れる

柔軟な勤務体系
フレックスタイム
制の導入

※大規模輸送障害や自然災害による車両損傷対応は、従来通り駅派出検査・車両センターが連携して対応を行う。

組合

- ◆ 成果と課題を示すこと。
- ◆ 持続的な成長とは何か。
- ◆ 品川派出の体制を示すこと。
- ◆ 2テを維持するのか。
- ◆ 今まではホーム担当であったが、総合車両センターの社員が行くのか？
- ◆ その体制で安全・安定は確保できるのか。
- ◆ 派出等は2名が基本では。
- ◆ 教育は大丈夫なのか。
- ◆ 現在、品川派出で働いているのは保全科で良いか。
- ◆ 本所の人不足が足りなくなると思うが、本所の要員等も考えた今回の提案なのか。

会社

- 体制変更で対応等に影響を与えた認識はない。順調に進んでいる。本区と融合により、本線業務にとらわれることなく幅広い活躍のフィールドを得られた。
- 車両職の採用数が減っている。今後も減っていくことが見込まれる。業務の生産性を向上しながら効率的に進めていくことが成長につながる。
- 現状は2テ。本所と融合で常に常駐している。
- フレックスで変わるが、作業ダイヤは2本ある。4日勤となるイメージ。必ず2人居るかと言えない時間もある。
- 総合車両センターの計画科に派出に行ってもらおう。計画科のイメージは企画業務等、事務所で作業している人である。
- 安定性は、車両の性能の向上などで対応は可能である。大規模障害などは、車両センター本区や、総合車両センターからも駆けつける。
- 従来の形は2名体制である。しかし、情報ツールが発達し、画像の共有などもできる。1人で判断することなく相談ができるため対応できる。
- 必要な教育はしていく。
- 保全科所属の派出である。
- そこは考えていない。要員よりも、派出をより良くするために考えている。

車両の安全性確保と働きがいの実感できる労働現場をつくり出すために、団体交渉で議論していきます！